信　条

本会は、同窓生相互の連絡を密にして親睦を深め、社会学部及び法政大学の発展のために活動することを目的とする。（会則第3条）

法政大學 社会学部 同窓会報

Vol.64

法政大学社会学部同窓会
発行人　中 正美（同窓会会長）
編集人　吉川新吾（会報委員長）
〒194-0298　東京都町田市相原町4342
法政大学4号館社会学部A棟11階
TEL・FAX　042-783-2421
http://www.hoseisoc-dousoukai.jp/
郵便振替口座　02東京00140-1-63762

卒業おめでとうございます

同窓会支援　社会学部卒業祝賀会が開催

社会学部優秀卒業論文表彰式で11名を表彰

受賞者に表彰状を授与し記念品を贈呈

受賞者と社会学部の先生方、同窓会長の記念撮影

受賞者代表・北川さんのスピーチ

受賞者代表・西村さんのスピーチ

司会をされた二村先生

挨拶する中会長

祝賀会での懇談の様子

祝賀会での懇談の様子

宇野学部長による乾杯のご発声

3月24日（日）、午前中に日本武道館で行われた学位授与式（社会学部卒業生約700名）に引き続き、昨年度までコロナ禍で開催が見合わされていた「法政大学社会学部卒業祝賀会」が、午後2時過ぎより市ケ谷キャンパス富士見坂食堂で開催されました。この祝賀会の開催にあたっては、社会学部同窓会が補助金による支援を行っています。また、同窓会長名で優秀卒業論文の表彰を行っています。

当日は、二村まどか先生の司会で卒業祝賀会の開会が宣言され、初めに社会学部同窓会・中正美会長より祝辞がありました。引き続き、中会長より優秀卒業論文表彰の受賞者11名に賞状と記念品（Amazonギフトカード）が贈られました。受賞者代表2名の挨拶では、ご指導いただいたゼミの先生や支援していただいた家族への感謝の言葉とともに、この賞を企画した同窓会へのお礼の言葉もあり、支援事業を行っている社会学部同窓会にとっても大変嬉しい感想を聞くことができました。受賞された11名の皆さん、おめでとうございます。

その後、宇野斉社会学部長の発声による乾杯、参加者の歓談と祝賀会らしい華やかな会となり、最後に応援団によるエールと校歌斉唱でお開きとなりました。コロナ禍の影響を受けた学生生活の締めくくりの時間が心に残るものになったとしたら幸いです。

卒業生の皆さん、あらためて、ご卒業おめでとうございます。社会人としての今後のご活躍を期待いたします。同窓会へのご協力もお願いいたします。

社会学部優秀卒業論文表彰の受賞論文および受賞された皆さんのコメントは3面をご覧ください。

「昭和100年」目を同窓会の課題解決の転機に

社会学部同窓会　会長　中 正美

中正美同窓会会長

能登半島地震で被災されました方々に、心からお見舞い申し上げます。

コロナ禍から解放され、少しずつではありますが、私たちの活動も元気を取り戻しつつあります。

同窓会では現在、運営活動方針を「学生ファースト」に転換し、「就活セミナー（職業社会論への寄付講座）」「六大学野球・箱根駅伝応援」「優秀卒業論文表彰」など、多くの会員の皆様のご協力の下、実施することができました。

あらためてこの一年の同窓会へのご支援・ご協力に感謝申し上げます。

昨年度、大変うれしいニュースがありました。3月24日の卒業祝賀会での席上、11名の優秀卒業論文表彰式での出来事でした。

表彰者の一人、西村竜彦さんが次のような受賞あいさつをされました。「この賞を取るために頑張ってきました。とてもうれしいです。」と。会場が一瞬にして明るくなるのを感じました。横にいた役員もおそらく同じことを感じて称賛の拍手を送っていたと思います。

賞状と些少の記念品ではありますが、このような気持ちを添えていただいたことは、今後の同窓会活動に大きなパワーをもたらすひとコマとなりました。

私たち役員の多くは昭和生まれですが、来年は「昭和100年」にあたるそうです。我が同窓会もこの年を一つの転機と位置付けております。

役員の高齢化に伴う人手不足、会員数の減少による活動費の減少など同窓会の運営にかかわる諸課題が目前に迫っており、その対応には、多くの時間と皆様のお知恵を拝借することになると思います。

会長職3期目となりますが、教授会執行部の皆様、校友会のお力添えもいただきながら取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

同窓生の皆様の熱い後押しを力に

全力を尽くしていきます

社会学部長
同窓会名誉会長　澤柿　教伸

澤柿教伸社会学部長

同窓会の皆様には、日頃から変わらぬご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

新体制となった社会学部執行部を代表いたしまして御挨拶申し上げます。私ども新執行部は、学部長が環境科学で、主任のお二人が工学と理学の学位をそれぞれ有しており、期せずして、一見社会学とは異なる分野の教授で構成されることになりました。とはいえ、社会学の本質は人間社会を解明する学問であり、本学部は、さまざまな時代の要請に応えつつ、現実社会の矛盾や問題に正面から向き合い、その解決の糸口を見出す人材を輩出する役割を担っています。私どもは、執行部の性格にとらわれずにコアとなる学問分野をもりたてつつ、文理を超えた理論と実践の融合による人材育成に注力して参りたいと思っています。

さて、本年4月10日の開学記念日に合わせて、2030年を目途に経済学部を市ケ谷キャンパスに移転させるという重要な発表がありました。実際に移転するのはまだ先ですが、多摩キャンパスに残る3学部（社会・スポーツ健康・現代福祉）は、その特性を生かし魅力ある学びの場へと再構築する使命を帯びることになりました。6年後の2030年に向け、3学部体制の維持を含め、具体的な将来ビジョンを示していかねばなりません。残された6年間はギリギリの年数であると言っても過言ではないでしょう。

多摩キャンパスには自然環境に恵まれた立地メリットがあり、スポーツの拠点としての役割があります。また、昨年設置された「ソーシャル・イノベーションセンター」を中心に、社会課題解決に向けた新しい価値創造の場を提供できるよう環境整備を進めています。

同窓生の皆様には、社会の最前線でご活躍の経験を有しています。在学生支援や同窓会活動へのご協力、専門知識の還元、さらには同窓生同士の交流の場の提供など、様々な形で母校の発展にご尽力いただければ幸いです。皆様の熱い後押しを力に、社会に貢献する人材育成と社会学の発展に全力を尽くす所存です。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

「多摩キャン社会学部棟トリビア」予告

法政大学社会学部は1952（昭和27）年開設、1984（昭和59）年に多摩キャンパスの地に移転（1年生の授業を開始）しました。社会学部棟建設当時学部長をされていた名誉教授・金山行孝先生は、社会学部の未来を見据え、多摩キャンパス社会学部棟建設に情熱を注ぎ、深く関わられました。金山先生の想いは、社会学部棟のいたるところに詰まっています。

今回、金山先生から当時の想いを聞き、「多摩キャン社会学部棟トリビア」（仮）と銘打ち、同窓会報で連載記事を計画しました。今号2面「学生インタビュー」に登場していただいた漫画研究会の学生にも協力を得て次号より掲載予定。ご期待ください。

学生インタビュー

多摩キャンパス漫画美術研究会で活動

好きです！自然豊かな多摩キャンと美しい夕陽

本紙1面で紹介したように、金山名誉教授が語る「多摩キャン社会学部棟トリビア」（仮）の記事と4コマ漫画を次号会報に掲載する予定です。漫画キャラクター制作をお願いした漫画美術研究会のお二人、社会学部4年生の田村優佳さんと、同学部2年生の菅原李里花さんにお話をうかがいました。

（聞き手＝髙橋敏）

――法政大学社会学部に進学された理由は？

田村　茅ケ崎市出身で、社会学部への入学は、社会学の幅の広さと、家族やジェンダーに興味があったからです。それと、私は自然が好きで、多摩キャンの自然に囲まれて勉強したいなあと思いました。（笑）

菅原　横浜市から通っています。公務員を目指していて、公共事業の役割や地方自治を学びたかったのと、プログラミングにも興味があって、社会学部では幅広く学べることが入学理由です。

田村優佳さん（写真左）と菅原李里花さん

――授業やサークルでお忙しいと思いますが、学生生活はいかがですか？

田村　1年生の頃はコロナ禍の影響で友達との交流が少なかったのですが、2年生以降は、サークルも授業も充実しています。漫画研究会には約100名の会員がいるので、新入生勧誘の打ち上げとか、SNS等を活用して皆でイラストを描きながら通話するとか、とても楽しかったです。授業では、今受講している家族社会学の歴史的背景で形成された価値観に興味を持っています。

菅原　大学生活は通うのが精いっぱいという感じです。朝6時に起きて大学に来て、5限が終わって帰ると9時ぐらいです。でも、漫画研究会やバイトも楽しいです。授業は、堀川先生の環境社会学が面白く、興味をもっています。

――経済学部が市ケ谷キャンパスに移転するという話もありますが、多摩キャンパスはいかがですか？

田村　去年アメリカのボストンに留学していた時に、日本に帰ったら真っ先に多摩キャンのモミジを見たいと思いました。（笑）ここが好きで生活しやすいです。

菅原　多摩キャンで一番好きなところは、4限終わりの夕暮れの景色で、思わず写真を撮ります。（笑）不満は体育館が遠い、駅とキャンパスが遠いことかな。

田村　学食だとお昼の時間が限られるので、ファミレスとかないのもちょっと不満。（笑）

――漫画研究会ではどんな作品を？

田村　今、色鉛筆の水彩でイラストを描いています。淡い色味で、1枚で語れるところに惹かれています。

菅原　液晶タブレットでキャラクターを描いて、ゲームも作っています。

――今後の夢を教えてください。

菅原　今は、公務員講座やTOEICに力を入れています。3Dにも興味があって、趣味も勉強も頑張っていこうと思っています。

田村　就職内定しているので、社会に出たら、企業課題を解決するコンサルタントを目指して、IT知識、実務知識をつけたいと思っています。

――お二人の学生生活や多摩キャンパスへの想いを聞き、気持ちが温かくなりました。夢に向かって頑張ってください。

教授登場

「社会ネットワークの構造、行動による変化」をテーマにコロナ禍から新しいスタイルへの変化を牽引

宇野 斉 教授（「社会ネットワーク論」ほか担当）

宇野斉先生（堀川先生撮影）

――初めに自己紹介をお願いします。

もう20年以上前になりますが、2002年度メディア社会学科創設時に赴任しました宇野斉です。現在は学科では輪番でメディア研究法B（量的調査）や基礎演習を、設計コースで社会ネットワーク論、意思決定論を担当しています。

――宇野先生のご専門について、簡単にご教示ください。

元々の専門は組織論です。当初は組織構造のグラフ理論を適用しての分析・考察を展開していました。その後は、組織の条件である「共通の目的」を満たしていない状況としての社会ネットワークに範囲を緩めています。組織内外の社会ネットワークの構造、その中でのメンバーや（サブ）組織の行動、その結果としての変化について主に考察しています。変化にはネットワーク構造の変化も含みます。例えば、これからの取り組みは、組織メンバーがリスキリング、ジョブ・クラフティング等の行動の結果、その組織メンバーの組織内外でのコミュニケーション相手やその内容がどう変化するか、それが本人や組織にどういう変化を及ぼすか、です。

――宇野先生のゼミでは、現在どのような研究をされていますか。

専門ゼミではこれらと絡めて意思決定とマーケティングの四分野の基礎とクリエイティブ産業についてゼミ生と学んでいます。これは創造産業とも呼ばれ、従来の産業分類を横断するサービスやデザインの関係する分野です。メディア産業、ゲーム産業を含むコンテンツ産業、インターネット関連も含まれます。ゼミ生はそれぞれの興味に応じて個人研究で社会現象を分析・考察しています。発表内容はブログに掲載し、X（旧Twitter）でも発信しています。どうぞご覧ください。（注）

――社会学部長としての2年間を振り返って、どのように感じていらっしゃいますか。

はい。22～23年度に社会学部長を仰せつかっておりました。ご承知の通り社会学部は学内でも大きな学部の一つで、60名を超える教員の専門分野も多様です。この2年間はコロナ禍から新しいスタイルへの変化の時期、同時に改正私学法への対応の準備、HOSEI2030にある経済学部の移転に関する議論が進められる時期でもありました。教授会主任、副主任の先生方のご尽力で何とか大役を終えられました。

宇野ゼミの学生たちと

――最後に、現役の社会学部生や社会学部卒業生に伝えたいことなどをお願いします。

卒業生の皆さん、これを読んでいらっしゃらない方を同窓会に是非お誘いください。現役学生の皆さん含めて、校友会の各種サービス同様に社会学部の同窓会もどうぞご利用ください。そして、70周年はコロナ禍で行事もあまりできませんでしたが、2027年の社会学部創立75周年の各種行事にはどうぞご参加ください。

――ありがとうございました。

注：宇野斉ゼミのブログは「unozemiブログ！」で、X（旧Twitter）は「@unozemi」で検索してください。

社会学部卒業生のみなさん　交流と連携を深めましょう！
在校生のみなさん　業界研究・就職相談も歓迎します！

株式会社　日本ビジネスマッチング

代表取締役　三上　純昭
昭和53年（1978年）3月　社会学部　社会学科　卒
体育会スケート部スピード部門ＯＢ会　会長
株式会社バイク王＆カンパニー　取締役　監査等委員

国際証券（株）［現　三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券（株）］　企業開発部長を経て、平成13年（2001年）11月、㈱日本ビジネスマッチングを設立

会社を設立し20年が経過しました。引き続きよろしくお願い申し上げます。
〒104-0041　東京都中央区新富1－3－9　須藤ビル4Ｆ
ＵＲＬ：www.matching.co.jp
MAIL：mikami@matching.co.jp

2023年度社会学部優秀卒業論文表彰 受賞論文と受賞者コメント

〈2023年度社会学部優秀卒業論文〉

氏名	学科	論題(タイトル)
里見　和樹	社会政策科学科	まちに活気を取り戻すための中心市街地商店街の活性化
高安　美月	社会政策科学科	学業成績が大学生の幸福度に与える影響　～ＧＰＡと経済状況､幸福度の関係～
出川　透真	社会政策科学科	政治がクラシック音楽にもたらす危機について ――アレントの議論に基づくナチ・ドイツとソ連における「音楽の政治的危機」の研究
甲賀　桃子	社会学科	日本社会における児童虐待　―「子どもの権利条約」と日本の児童保護をめぐって―
中山　京佳	社会学科	現代社会における「凡庸な悪」と自己と他者
西村　竜彦	社会学科	20年代のショッピングモール表象に見る「16号線的郊外」の「多面性」
橋立　大駿	社会学科	国立市谷保からの示唆　―国立像を描き直す試み―
福田　巳夕	社会学科	外国にルーツを持つ子どもの教育と学習支援
内田　響	メディア社会学科	フェイクニュースを身近に感じるワークショップの提案
北川　博子	メディア社会学科	関西人と関東人では意思決定方法が異なるのか？　～プロスペクト理論による検証～
渕野　沙和	メディア社会学科	コミットメントデバイスとしてのリビング学習　～「ソフト」か「ハード」か～

〈受賞した学生からのコメント〉

里見 和樹……

このたびは優秀卒業論文に選んでいただきありがとうございます。この卒業論文は私の地元の商店街が衰退し、何か復興させる手段がないかと書籍を探していた中で、梯輝元氏の「滅びない商店街のつくりかた」の中で紹介されていた「リノベーションまちづくり」に焦点を当てて執筆しました。最後に、この卒業論文を書くにあたって指導してくださった谷本先生をはじめ、インタビュー調査にご協力いただいた梯輝元様、卒業論文に多くのアドバイスをくれた谷本ゼミの同期に感謝いたします。

高安 美月……

３年間の努力の結晶である論文をこのような形で評価していただき、大変嬉しく思います。北浦先生を始め共に切磋琢磨したゼミ生、４年間サポートしてくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。私は高校時代から社会課題の解決策や問題点を考えることが好きでした。社会学部では数多くの分野と多角的な思考について学び理解を深めました。社会人になっても､「考える」ことを追い求め、学び続けていきたいです。

出川 透真……

このたびは、私の執筆した卒業論文を優秀卒業論文に選んでいただくことができ、大変光栄に思います。この場をお借りして、こうした機会を用意してくださった学部学会運営委員会・社会学部同窓会の皆様、切磋琢磨してきた友人や支えてくれた家族、そして指導教官である岡野内正先生に心より感謝申し上げます。本論文では、政治がクラシック音楽にもたらす危機について２０世紀の史実を基に論じましたが、この研究成果が、混迷をきわめる今世紀の政治と音楽の関係性にも何らかの示唆をもたらすことになれば幸いです。

甲賀 桃子……

私達の学年はコロナ禍のもとでの入学で、長い期間思うように学ぶことができなかったため、学生生活最後に取り組む卒業論文には力を注ぎたいと思っていました。今回、苦戦しながらも自分なりに尽力した卒業論文を優秀卒論に選んでいただけたこと、とても嬉しく思います。この経験や執筆する中で得た新たな知見をこれからの社会人生活でも活かしていきたいです。ありがとうございました。

中山 京佳……

このたびは優秀論文として採択していただけたことを大変嬉しく思います。環境や出会いは人生に大きく影響を与え、ときに苦難を強いられる一方で、大切なアイデンティティとしても存在します。論文を執筆する中で人生の宿命ともいえるこの問題に頭を抱えましたが、まず、私自身が誰かの環境を作れる人間であることを忘れてはいけないと強く実感しました。卒業論文執筆にあたりご協力いただいた全ての方々に心より感謝申し上げます。

西村 竜彦……

論文のテーマとして選んだ「郊外」や「ショッピングモール」という場所に関心を持つようになったのは、ちょうど私が大学に入学したぐらいの頃でした。４年間あたためてきたテーマについて書いて賞をいただけたことによって、論文が大学生活の集大成に位置づけられたような感覚があります。とても嬉しいです。

橋立 大駿……

今回受賞ができて大変嬉しく思います。多くの人から大変貴重なお話をしていただきましたが、その内容をまとめ、分析し、文章化するのは大変難しいことでした。しかし、こうして卒業論文が無事完成できたのは、調査にご協力いただいた全ての方、最後までご指導下さった堀川先生、そして近くで見守り続けてくれた家族のお陰であると思っております。また、一連の卒業論文制作を通して、自分自身が成長できたと感じております。

福田 巳夕……

このたびは優秀卒業論文として選んでいただき、誠に光栄に思います。本論文は、外国にルーツを持つ子どもの教育において、学習支援が彼らの学習面や将来を考える上でどのような役割を果たしているのか、またその課題について論じました。２年次から継続して研究し、３年次からは実際にフィールドに入って観察してきたため貴重な体験を基に論文を書き上げることが出来ました。インタビューにご協力いただいた方々や指導してくださった先生に心から感謝申し上げます。

内田 響……

このたびは表彰していただき、非常に光栄です。私がテーマとしたフェイクニュースは入学当時の私には関心がなかったテーマでした。しかし研究を進めるにつれて自らの体験と向き合うことで自分らしい問題意識を持って取り組むことができました。これもご指導いただいた教授と共に過ごしたゼミ生同期のおかげです。あらためまして、ワークショップに協力していただいたすべての方々に心より御礼申し上げます。

北川 博子……

このたびは優秀卒論賞を受賞することができて、とてもうれしく思います。論文を書くきっかけは、母が関西人で幼い頃から“関西”に馴染みがあったことです。イントネーションの違いだけでなく、値切るのが上手だったりと、関西人と関東人に色々な違いを感じていました。コロナによって想像とは違う大学生活でしたが、学びへの想いを絶やさず熱意をもって取り組んだ論文が、最後に優秀卒論という賞になったことで意味のある４年間だったと感じることができました。

渕野 沙和……

私の卒業論文は、弟がリビングで勉強している姿に疑問を感じたことから、行動経済学と結びつけて研究テーマを探求しました。北浦ゼミのメンバーと何度も議論を重ね、完成した納得のいく論文が、優秀論文という評価までしていただき大変光栄です。今回の卒業論文の執筆で日常生活と行動経済学という学問が密接に関係していることを学びました。今後もさらに学びを深め、今後の人生に役立てていきたいです。

初めまして

「メディア文化論」、「映像制作技法」、演習などを担当

社会学部准教授　琴 仙姫(クム ソニ／Soni Kum)

琴仙姫先生

初めまして。２０２４年社会学部メディア社会学科に着任しました琴仙姫(クムソニ)です。

専門は現代美術・映像・ニューメディアで、ポストコロニアル理論、政治哲学、美術理論などを研究してきました。作品の制作活動も行っており、これまでに東アジアの歴史的な軋轢の中、声にならない声を拾いながら作品を作ってきました。近年のプロジェクトとしては２０１９年に川村文化芸術振興財団のソーシャリー・エンゲイジド・アート支援助成を得て『朝露―日本に住む脱北した元「帰国者」と アーティストとの共同プロジェクト』を推進し、２０２０年には《Morning Dew - The stigma of being "brainwashed"》という映像作品を制作しました。２０２３年にはコーネル大学の美術館で「朝露」特別展が開催され、各地の大学で上映会やシンポジウムなどが開催されてきました。

選考委員の方々には「自由に活動していい」という励ましの言葉をいただき、本当嬉しったですし安心しました。ガザでジャーナリストの殺害が続いたり、アメリカの学生運動が武力で鎮圧されたり、芸術作品の検閲が多発している現在、アカデミック・インスティテューションが担う役割はとても重要だと思います。

初めまして

社会意識を研究し、「社会調査入門」を担当

社会学部　専任講師　池田　裕

池田裕先生

社会学部社会学科に着任しました、池田裕です。専攻は計量社会学で、統計的分析によって、社会意識を研究しています。３月までは日本学術振興会特別研究員として研究を行いながら、関西学院大学、大阪商業大学、関西大学で社会学と社会調査を教えていました。

人工的な光にまどわされず、真実を見つめて活動する勇気を持ちつづけたいです。

４月からは「社会調査入門」を担当しています。これは過去に「社会調査」や「社会調査Ⅰ」という名前で開講されていた授業で、同窓会員の皆様の中には受講された方もいらっしゃると思います。今年度は約４００人の学生が受講しており、私がこれまで担当した授業の中で最も大規模なものになっています。

傲慢かもしれませんが、それだけ多くの学生の考え方に影響する可能性があると思い、非常に大きな責任を感じています。幸い、熱心な学生の存在が大きな助けになっており、社会学部の学生の優秀さは少人数授業でも強く感じられます。恵まれた環境で教える機会を与えられたことに、心から感謝しています。

法政大学体育会水泳部顧問
法政大学法友体育会事務局長
法政大学監督会事務局長
法政大学校友会スポーツ部会長
総監督　山重　美登士
1971年3月卒業
税理士法人　山重会計事務所
〒244-0816神奈川県横浜市戸塚区上倉田町1000番地
TEL045-864-1666

Chuō
中央Ａｉ専門学校
中央福祉医療専門学校
中央アートスクール
理事長
校　長　宮杉　早苗江
本部〒323-0022 栃木県小山市駅東通り 2-24-28
TEL 0285 24 1571　FAX 0285 24 2522　msanae@peach.ocn.ne.jp
http://www.chuo-fukushiiryou.ac.jp　http://chuo-art.jp http://chuo-ai.jp/
1970 年 3 月卒　田沼肇ゼミ

村串　仁三郎著　(法政大学名誉教授)
『現代日本の国立公園制度の研究』
―国立公園は自然保護の砦か
レジャーランド・リゾート地かを問う
(時潮社、６,000円)
1959 年 3 月卒　長谷川博ゼミⅡ部

法政大学社会学部同窓会
幹事　山田　道生
〒017-0803秋田県大館市東台２丁目１-64
TEL.0186-43-2980
1963年卒　笠原ゼミ

HIG
代表取締役
濵岡　公治
1976年3月卒業
有限会社　エイチアイジー
〒734-0023　広島市南区東雲本町１丁目８番２号　HAMAOKA.BLD 201
TEL(082)890-8060　FAX(082)890-8066　携帯090-8996-2096
E-mail　hig1218@gmail.com
事故・故障24時間安心ダイヤル0120-024-024

東産業株式会社　焼肉店舗設備
取締役副社長　河村　勝弘
東(あずま)産業株式会社　〒124-0011　東京都葛飾区四つ木３-７-12
TEL：03-3694-6392　FAX：03-3694-6720　mobile：080-3259-4708
福岡営業所 TEL：092-409-0663　(応用経済学科卒の方、連絡乞う)
1963年３月卒、土生長穂ゼミ
https://www.8929.co.jp　E-mail：info@8929.co.jp

東西南北

会員の短信から

※卒業年は3月時点を記載しています。

【埼玉県】

越谷市
58年卒　横山　隆一

2022年12月5日にドクターストップ。慢性心不全、1年が経過しました。ペースメーカー交換（3週）、不調につき49日入院。その後、通院・自宅・施設の3本立てで余命をつないでいます。

アメフト残念。神宮にも行けず、TV、新聞で応援の毎日です。在学4年間の「プロ倫」、その後の観戦応援で体力維持、楽しかった。

会報63号巻末、渡辺京二さんが御同窓とは知りませんでした。光栄です。法政なくしては、六大学もMARCHも成立せず。ご同慶の至りです。

（村山重忠ゼミ）

【東京都】

板橋区
02年卒　清水　英之

新年度を迎えました。今年は桜の開花が例年より遅く、東京は入学式のころに桜が見ごろになったようです。私も約20年前、千鳥ヶ淵の桜を眺めつつ、晴れ晴れとした気持ちで武道館に入ったことを懐かしく思い出します。

私は現在、板橋、松戸、八王子で不動産・リフォームの会社を経営していますが、4月から2名の社員を新たに迎え入れました。先日、彼女たちに業務を教えていると、思いもよらぬ質問が返ってきました。経営者として学びの日々はこれからも続きます。

（三溝信ゼミ）

文京区
80年卒　保坂　正紀

2023年1月で43年勤めたテレビ朝日を定年退職しました。テレビ全盛期に仕事ができて幸せな会社員生活でした。退職で〝毎日が日曜日〟状態でゆっくりできると思いきや、アナウンサー・報道記者・広報・宣伝の経験を活かした講演やイベント、結婚式の司会を依頼され社会と関わっています。ありがたいことです。中央大学が都心回帰の方針により、私の家の周囲は中央大学だらけです。

（須藤春夫ゼミ）

〈2030年をめどに経済学部を多摩キャンパスから市ヶ谷キャンパスに移転させることを決定、というニュースが流れています。社会学部はどうするのでしょう。（編者）〉

品川区
96年卒　加藤　典子

いつも会報のご送付ありがとうございます。懐かしく楽しかった大学時代を思い出させて頂いています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

（土生長穂ゼミ）

小平市
91年卒　藤森　龍平

知り合いのラグビー部の学生達が大学選手権に出場しました。負けてしまいましたが、久しぶりに年末まで観戦できました。ありがとう。他大学より厳しい環境の中において出した結果は素晴らしいと思います。

（増島宏ゼミ）

国分寺市
石坂悦男
（法政大学名誉教授）

会報63号拝受。今号の企画の充実、卒業生の各分野での活躍の紹介記事に読み応えあります。特に1面のインタビュー、私論公論、社会人OB・OG、随想など、社会学部で学んだことが生かされているように思います。編集部の企画・編集・取材の誠意ある取り組みに感謝！　今後もよろしく。

【神奈川県】

横浜市
84年卒　鈴木　康功

今年（2024年）も箱根駅伝応援でスタートしました。今年は久々に幟等を使用しての沿道での応援が可能となり、いつもの横浜駅付近で応援しました。後援会の方や多くの同窓生が応援に来ておりました。私は僭越にもオレンジの大きな幟をお借りして応援しました。大声援に稲毛選手（復路9区）も拳を挙げて応えてくれました。大健闘で総合6位。3年連続でシード獲得。後輩の頑張りに元気を貰いました。

一方、今年は元旦に能登半島地震が発生。多くの犠牲者が出ており、今なお多くの不明者がおり心が痛みます（1月中旬現在）。一日も早く日常が戻ることをご祈念申し上げます。

私は今年63歳になりますが、私の原点は法政大学社会学部で学んだことです。特に秋田成就ゼミで「労働法」を学んだことが大きな財産だと考えております。昨年末も社会学部の同期の友人と都内で忘年会を行い、旧交を温めました。今年も引き続き法政大学社会学部OBとしてのプライドを持って「社会保険労務士」として、また一市民としても秋田ゼミで学んだ「労働法」の基本理念を忘れることなく、微力ながら社会の改革に尽力する所存です。

（秋田成就ゼミ）

横浜市
83年卒　川井　貴正

学校の周りに一軒の居酒屋もない在校生を尻目に、神楽坂を飲み歩く無神経な行事を会報に載せる同窓会に呆れました。不便な場所で有名な社会学部の現状を直視しない同窓会は辞めます。

（大山博ゼミ）

〈川井様、今号2面「学生インタビュー」を読むと、自然に恵まれた多摩キャンパスを気に入っている学生がいることがわかります。現役学生も、それぞれの置かれた所で、充実した生活を送ることができているようです。（編者）〉

川崎市
89年卒　後藤　真左美

昨年度から法政大学川崎法友会の会員になり、5月11日に初めて総会と懇親会に参加しました。法政大学倶楽部OBの方から「人生の原動力となったのは野球と師の言葉だった」との講演は、学生時代に人生の方向を決めた一人として共感と学びがいっぱいでした。また様々な分野でご活躍されている方が参加され「先輩後輩」という一致ですぐに打ち解け話も弾み、最後は円陣で校歌を熱唱。大変有意義な時間を過ごしました。次回も楽しみです。

（田沼肇ゼミ）

【宮崎県】

宮崎市
75年卒　川内　克寛

61号で石川淳志先生の訃報を知り、市ヶ谷校舎での日々を懐かしみました。ご冥福をお祈り致します。

年金生活となり、年を重ねるごとに市ヶ谷、飯田橋、外濠公園、神楽坂など思い出しています。

63号会員短信掲載された尾国健一郎氏とOB会実施を計画しています。石川ゼミ75年卒のみなさん。近況をお寄せください。

（石川淳志ゼミ）

〈飯田橋駅付近や神楽坂はだいぶ様変わりしています。昔の景色と比べながらほろ酔い気分で歩くのもおすすめです。（編者）〉

【訃報】

ご遺族の方から、次の方々のご逝去の連絡をいただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

会員
鍛冶　健治（55年卒）
23年9月ご逝去
古川　育男（64年卒）
23年ご逝去（逝去月不明）
田仲　茂明（79年卒）
23年11月ご逝去

お詫び　会報63号で短信記事をご紹介した北海道札幌市、77年卒の橋本正樹さんのお名前は、正しくは橋本政樹さんです。お詫び申し上げますとともに、訂正いたします。

『ソーシャルメディアにおける価値共創メカニズム』

木暮美菜　著（学文社）

著者は、法政大学社会学部を2018年に卒業し、社会学研究科博士後期課程を修了（2023年）した。本書は2023年度法政大学大学院優秀博士論文出版助成金の助成を受けて出版されたものである。

近年、ソーシャルメディアで「バズる（評判になる）」ことや「炎上する（批判される）」ことが製品の売上や企業の評価に大きく影響するようになった。

本書はソーシャルメディアのクチコミが製品価値を決定する「ソーシャルメディアにおける価値共創」に着目し、なぜ消費者はソーシャルメディアにクチコミを投稿するのか？、クチコミを見た消費者はどのように製品の価値を評価して購買するのか？という2つの疑問を明らかにするために、9つの心理実験を紹介している。

マーケティング、消費者心理、そしてSNSなど昨今の社会の様相を知りたい方に、ぜひ読んでいただきたい。

『ソーシャルメディアにおける価値共創メカニズム』　書影（学文社刊）

新入正会員の紹介

（受付期間2023年11月～24年5月）

5月入会

石川　康司　（1985年卒、須藤ゼミ）

寄付者ご芳名

23年11月～24年4月

（敬称略）

皆様からお寄せいただいたご厚志に心から感謝いたします。同窓会の貴重な運営費として活用させていただきます。

10口　杉本　昇
7口　坂元　要
5口　宮杉早苗江
　　澁澤　知宏
　　藤永　正順
3口　川内　克寛
　　山岸　秀雄
　　赤池　慎一
2口　伊藤　雅史
　　上野　英明

2口　田南　一郎
　　木村　雪子
　　仲田　広道
　　土屋　幸雄
　　福田　伸夫
　　宇佐美　貴
　　濵岡　公治
　　武井　透
　　河村　勝弘
　　都築　勝彦
　　高野　忍
　　鈴木　光枝
　　栗原　政實
　　鶴巻　宏治
　　山田　道生
　　近藤　栄一
　　鈴木　康功
　　会田　良
1口　井上　秀枝

法政大学社会学部同窓会 監事
法政大学2部九条の会 世話人
プーチンはウクライナ侵攻をやめよ! 核戦争反対!
司法書士　木村　誠
〒101-0046　東京都千代田区神田多町2－7　翔和多町ビル2階
TEL03-3256-7058／FAX03-3251-2205
1977年3月卒　土生長穂ゼミ

法政大学社会学部同窓会
常任理事　中村　一廣
自宅〒277-0086 千葉県柏市永楽台3-8-3
1961年3月卒　増島宏ゼミ

法政大学社会学部同窓会
理事　塩田　利明
〒347-0012　埼玉県加須市多門寺1153
TEL　0480-68-5118
1967年3月卒　土生長穂ゼミ

法政大学社会学部同窓会
幹事　藤永　正順
自宅〒733-0815 広島市西区己斐上3-3-28
TEL. 082-272-5534
1957年3月卒　中島正ゼミ

法政大学名誉教授
NPOサポートセンター理事
法政大学社会学部同窓会
副会長　山岸　秀雄
携帯090-1461-1525　逗子市在住
hideoyamagishi7@gmail.com
1969年3月卒　佐藤毅ゼミ

シャカイ人 OB・OG

公共の分野で街を盛り上げたい
「手元に残せる婚姻届」実現

「人の能力を引き出す楽しい職場」をめざしている二ノ宮さん。婚姻届を出したカップルが記念撮影できる庁内のコーナーで

立川市役所職員　健康推進課(主任)

二ノ宮　真輝さん

11年3月卒、間島正秀ゼミ

東京都の立川市には、全国でも珍しい「手元に残せる婚姻届」があり、市外からも多くのカップルが訪れます。発案した市職員のチームの一人、二ノ宮真輝さん(36)が法政の社会学部OBと聞いて、訪問しました。

◇　◇

新潟から東京へ

私は新潟の出身で、都会の東京に憧れていて、他大学も受験しましたが、「社会学部」は広く世の中のことを学べるのではと、選びました。

ゼミは社会政策の間島正秀先生。コミュニティや公共の分野について興味がありましたから、青森の下北半島で「交流人口」を増やすためにはどうしたらよいのかを考えるフィールドワークや、埼玉の戸田市でシティセールス戦略に関われたことは、大変勉強になりました。

卒業後も東京生活を希望し、商業施設の活況と緑豊かな国立昭和記念公園など立川市の住環境はぴったりでした。市役所職員を志望したのは、気に入った街を「公共の分野で盛り上げたい」という気持ちからです。

2011年に採用。生活福祉課でケースワーカーとして生活保護受給者宅を100世帯ほど担当し、楽な業務ではなかった半面、大切な仕事でやりがいがあったことも事実です。

しばらくして、若手・中堅職員を対象に「地方創生のアイデアを事業化する」メンバーの公募があり、通常業務と兼ねて大変ですが、新たなことへの興味の方が勝りました。若手の男女5人のチームの一員になり、同年代の女性の定住人口が少ないというデータから、「女性が立川に興味を持つ方法は?」とたどり着いたのが「手元に残せる婚姻届」でした。

2人の手元に残る婚姻届

婚姻届は全国どこの自治体でも提出できますが、控えはありません。でも、二人にとっては大切な証しです。手元に残せれば多くの人に喜んでもらえるのではと考えました。

台紙は、私の提案で、夫婦の記念日を書き込む欄も設けました。「プレミアム婚姻届」と名付けて、庁内には記念写真撮影のコーナーもでき、16年5月に市内の結婚式場などで千円(税込)で扱うと、SNSやメディアでも話題になりました。累計で約9千部が出ています。立川を少しでも盛り上げられたかな、と思います。

現在は健康推進課の主任です。職場でのモットーは「楽しい職場が職員の能力を引き出す」で、同じ部署の人には1日1回、必ず話しかけるよう心がけています。

在学生の中には、就職先に悩む人もいるでしょうが、難しく考えず「面白そうだな」と感じるところを選ぶといいのでは。やりがいを見いだすのは自分次第ですが、置かれた環境で見つけることは可能だと思います。

大学ではアメフト

大学時代はアメリカンフットボールのサークルで、仕事外の趣味は山登りとキャンプ。日曜日は、小学生の長男と長女が通う「タグラグビー」のコーチも引き受けています。

私論公論

癒しの文学 マイブーム

吉川　新吾
(87年3月卒・田中義久ゼミ)

今の職場で昨年4月、村上春樹ファンと会話する機会を得ました。これをきっかけに、人生何回目かの文学マイブーム。虚構の名作に癒される日々。

社会へのかかわりの無さを特徴とする初期作品群の印象から長年、忌避していた村上春樹作品の代表作を『海辺のカフカ』を皮切りに次々に読み、90年代以降の村上文学が人・社会とのつながりの大切さに気付かされる方向へ変わったことを今更ながら知りました。その後、夏目漱石の初期三部作を再読。「これは明治時代の村上春樹だ」。途中、大江健三郎の再読を挟みつつ、ドストエフスキーへ移動。一番好きな『死の家の記録』を精読したあと、『罪と罰』、『賭博者』の新潮文庫に付箋を張りまくり、たくさん書き込みしながら、楽しんでいます。

この1年間に精読した小説の一部

作品世界を自分の脳内に導けば時空を超えてどこにも行ける！　勝手にキャスティングすれば映画のように楽しめる。あまりお金がかからないレジャー。しかも、忙しい時ほど精神安定剤のような不思議な力が出る。一人でも楽しいけれど、学生時代のように読書会をやってみたい気分です。「記憶というのは小説に似ている。あるいは小説というのは記憶に似ている」(村上春樹『午後の最後の芝生』)。

随想 心に深く刻まれた小澤征爾氏の「英雄」

郡司貴志(87年3月卒、金山行孝ゼミ)

いつかはこの日が来ることは分かっていたが、2月6日に小澤征爾氏が逝った。逝去後数日間はこの話題が報道されるだけで涙腺崩壊だった。最初に生の氏を見たのは、50年くらい前にTBS系で放送されていた「オーケストラがやってきた」の公開収録だった。詳しい内容は忘れたが、既に鬼籍に入って久しい山本直純氏との掛け合いが楽しかったことはだけは覚えている。

コンサートで氏の姿を見ることになったのは、親にチケット代を前借りして行った、昭和61年(大学4年)のボストン交響楽団を率いた来日公演だった。その時に聴いたベートーヴェンの交響曲第三番「英雄」は、若者なりに心に深く刻まれることとなった。その後社会人になってからは転勤したこともあり、氏のコンサートに足を運ぶことは減ったが、CDラックには多くの作品が遺されている。お薦めを挙げるとなるときりが無いが、①マーラー／交響曲第八番「千人の交響曲」(ボストン響)、②オルフ／カルミナ・ブラーナ(ベルリンフィル)、③ブラームス／交響曲第一番(サイトウキネン)あたりだろうか?(便利な時代になったので、すべてサブスクで聴くことが出来る)

逝去後多くの追悼番組が放送されたが、やはり氏の最大の功績は、その存在そのものであったと思う。「ボクの音楽武者修行」で本人も著しているが、その楽観的破天荒を基礎としつつも常に学び、「東洋人に西洋の音楽が分かるか」と言った偏見を自ら打破し、理想と現実を見極め、前を見据えてすべてのことに真摯にぶつかってきたからこそなし得たものであったと考える。その後多くの東洋人が楽壇で活躍出来ているのは氏が先鞭をつけたものであった。

なかなかクラシック音楽に耳を傾ける人は増えていないが、前述の通り近頃はサブスクで音楽を聴ける環境も整ってきているので、ぜひみなさんに氏の音楽を聴いていただきたいと思う。

～十八番のモーツァルトのディヴェルティメントを聴きつつ～

『推し』でいく同窓会―資金難の克服を目指して

社会学部同窓会の繰越金が前年度から大きく減少しました(7面第2号議案参照)。これは会費収入が前年度から20万円以上減少した影響が大きく、事業を持続していくには、財政面の中・長期的な見通しを立てることが、社会学部同窓会の喫緊の課題となっています。コロナ禍が開け、同窓生同士の親睦の機会だけでなく現役学生への支援を充実させるためにも、今年度は財政面の議論を行っていきます。

報告：社会学部同窓会所属の校友会員の皆様へ

○昨年12月に実施した代表議員の選出では会員の異論は無く、赤池慎一氏の推挙が承認されました。

○校友会館建設に関する調査回答(回答重複)では、建設希望6名、建設反対7名、近隣ビルや大学施設の借用8名という結果で、学部同窓会協議会に参考意見として報告しました。

法政大学社会学部同窓会
会長　中 正美
TEL.090-8586-1242
E-mail:qqkt5de9k@mocha.ocn.ne.jp
1975年卒

＊自由と進歩、言論・報道の自由は命
＊団塊世代OB、それなりに努力中です
フリーランス・ジャーナリスト
日本ジャーナリスト会議　会員
山田 幹夫
1975年3月卒　芝田進午ゼミ

法政大学社会学部同窓会
副会長 事務局員　髙橋 敏
TEL. 090−1802−2908
E−mail：binta0185@gmail.com
1978年3月卒 金山行孝ゼミ

職業能力開発短期大学校　東京建築カレッジ
教務主任　吉川 新吾
元　繊研新聞記者
建築やアパレル・ファッション業界で働きたい方の相談歓迎！
E-mail shingo-y@festa.ocn.ne.jp
1987年3月卒　田中義久ゼミ

法政大学社会学部同窓会
事務局長　赤池 慎一
携帯　090-5585-1049
akaike@mri.biglobe.ne.jp
1986年3月卒　田中義久ゼミ

第４号議案　2024 年度事業活動（案）

1　基本方針と主な活動

（1）存在意義の明確化と浸透

会則第３条

「本会は同窓生相互の連絡を密にして親睦を深め、社会学部及び法政大学の発展のために活動することを目的とする」

○存在意義【三つの柱】

①同窓生相互の親睦　②大学・在学生の支援　③同窓会文化の発展

◆「会費は在学生のため」を基本理念とした在学生支援事業を積極的に推進

（2）事業の計画的な推進と広報の強化

○年度当初に綿密な事業計画を立案

○会員情報を適宜、会報に掲載して会報の充実を図る

○HP・メールマガジンを活用し、事業情報の発信力の強化

○SNS を利用した「つなげる同窓会」活動

（3）イベント

□学生支援・応援事業

○「六大学野球観戦・応援」（神宮球場）春・秋２回　５月 25 日（土）10：30

○「箱根駅伝支援活動」箱根駅伝前にお米の差し入れ

○「箱根駅伝応援」毎年１月３日 品川駅前にて復路第 10 区走者を応援

○「卒業祝賀会支援」毎年３月 24 日 外濠校舎薩埵ホール　10 万円を支援

○「優秀卒業論文表彰」毎年３月 24 日 表彰及び一人５千円の記念品（Amazon カード）贈呈

○「授業：職業社会論支援」社会学部卒業生をゲストとして招聘 謝礼金で支援

□会員懇親事業

○「新年会」毎年１月３日 箱根駅伝応援終了後　品川近辺にて開催

○「大人のグルメ散歩」９月頃　神楽坂探訪を予定

□協力事業

○第 30 回法政大学全国卒業生のつどい（秋田大会）10 月 25 日（金）～27 日（日）

（4）会員数の増員と財源確保

○ゼミなどへの積極的な呼びかけをもって会員数の増員と財源確保を図る。

○大学教員との積極的な連携を図り、卒業生の同窓会入会を促進する。

○同窓会の将来を見据えて校友会・同窓会会員の掘り起こしと協力要請

2　計画

適時に計画し開催

教授会執行部との懇談会、六大学野球観戦（春・秋）、大人のグルメ散歩(９月)、職業社会論寄付講座、会報 64・65 号の編集発行、箱根駅伝徽励差入れ、箱根駅伝応援（2025 1/3）、2025 年新年会(2025 1/3)、優秀卒業論文表彰(2025 3/24)、卒業祝賀会支援(2025 3/24)、2025 年６月「定期総会」

3　組織活動

（1）外部組織との連携

○校友会「支部・団体責任者会議」「卒業生の集い」「新年を祝う会」等への参加

○同窓会協議会の連絡会議への参加

○他学部同窓会・経営者懇談会の定期総会・講演会・忘年会・新年会・記念式典等への参加

（2）諸会議

○事務局会議　必要に応じ随時開催する。

○役員会　リモート会議（２か月に１回）

○総会　市ケ谷校舎にて６月の第二土曜日に開催し、必要に応じ臨時に開催する。

（3）Web を活用しての情報発信

○ホームページは、原則、月１回の更新を促進する。

○ホームページの更新に応じてメールマガジンを発行する。

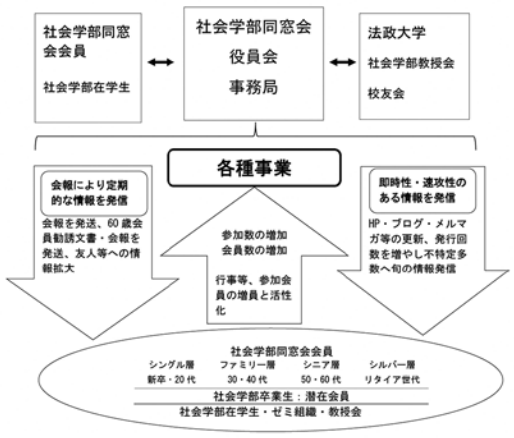
○SNS を利用して「つなげる同窓会」事業を展開する

（4）その他

○「2024 年度の基本方針」に則り、随時、事業を展開していく。

社会学部同窓会活動デザイン

イベントの企画・報告の情報発信等を通じて活動の周知を図り、会員数・参加数の増加を目指します。しかしながら、正会員不足と共に、役員不足が深刻な課題です。心意気を持った会員のお願をお待ちしております。



第５号議案　2024 年度予算（案）

収入の部

費　目	予算額	備考
前年度から繰越金	746,091	
会費	1,000,000	年会費3000円
寄付金	150,000	
広告料	300,000	会報64号・65号
総会会費	175,000	開催の連絡、ZOOM運営経費等
利息	500	三菱東京UFJ
終身会員徴収事務代行手数料	10,000	
雑収入	0	
計	1,635,500	
合　計	2,381,591	

支出の部

費　目		予算額	備考
事業費		250,000	卒業祝賀会支援、優秀論文表彰等、駅伝応援、キャリア支援事業他
総会費		175,000	開催の連絡、ZOOM運営経費等
会議費		40,000	役員会・事務局会議等
会報発行費		540,000	
	印刷費	350,000	会報印刷(64号・65号)
	発送費	150,000	会報発送(佐川メール便)
	雑費	40,000	会報編集交通費等
渉外費		50,000	
	賛助金他	20,000	他学部同窓会祝い金等
	慶弔費	30,000	
事務局経費		1,276,000	
	人件費	600,000	事務局員
	交通費	50,000	会報発送、事務局会議、その他
	通信費	70,000	
	備品費	40,000	
	消耗品費	50,000	乾電池、インク、ラベルシール、コピー用紙等
	印刷費	70,000	名刺、封筒、葉書等
	HP経費	300,000	更新コスト12カ月　サーバー借用料、他
	事務室賃借料	36,000	電話代・冷暖房代・水道代含む
	雑費	60,000	振替料金、振込手数料
小計		2,331,000	
予備費		50,591	
計		2,381,591	
単年度収支			
次年度へ繰越金			
合　計		2,381,591	

社会学部教授会執行部との懇談会を開催

～新執行部との関係構築を確認～

24年４月15日(月)、社会学部長室にて社会学部教授会新執行部の先生方と社会学部同窓会役員との懇談会を開催しました。執行部からは、新学部長澤柿教伸先生のほか、金井明人先生、鈴木麻美先生に出席していただくとともに、事務課奈良課長さんにもご同席いただきました。同窓会側からは、副会長兼事務局長の赤池慎一、副会長の髙橋敏が出席しました。

左から鈴木麻美主任（入試担当）、ディスプレイ内の三井さよ副主任、澤柿教伸社会学部長、金井明人主任（教務担当）

24年度初の懇談会であり、和やかな雰囲気で自己紹介から話し合いをスタートしました。澤柿先生より、社会学部の現状について「今年の入試もうまくいき定員を満たしている」「教員の新陳代謝が進み、2030年までにはかなり若返りが図れる」「授業は対面に戻ったが、オンラインを有効に使いたいと思っている」、とのお話がありました。

また、法政大学ＨＰに４月10日付で正式発表された、2030年を目途に経済学部を多摩キャンパスから市ケ谷キャンパスに移転させることに触れ、社会学部が市ヶ谷に戻るという計画は聞いていないという話もありました。この件については、大学の中だけでは考えが偏ってしまうので、今の若者の考え、保護者の考え、企業の皆さんやＯＢの皆さんの考えなどを知るためにも、同窓会の皆さんとも情報交換させていただきたいと思っていると話されました。

その後、同窓会活動の現状についてご理解いただくとともに、フリートークでは、多摩世代を同窓会に引き込む等の課題について意見交換がなされました。

最後に、今後も情報交換を図っていくことを確認して終了となりました。

第100回箱根駅伝　総合６位
シード権獲得おめでとうございます

～社会学部３年武田和馬選手　６区の区間賞を77年ぶりに獲得～

社会学部同窓会は１月３日､品川駅前(第10区）で１区～９区走者の想いを引き継いだ最終走者に声援を送りました。

選手達は志半ばで急逝した高橋彰太さんへの想いを喪章に込めて襷をつなぎ、総合６位となり、来年101回大会のシード権を獲得しました。社会学部からは６名の選手が出場しました。本年は法学部同窓会と合同での応援となり、また遠く山口県から63年卒の伊藤雅史さんが駆けつけてくださいました。

沿道応援の参加者は、その後、品川駅前の居酒屋に場所を移して祝杯をあげ、新年を祝いました。

坪田監督はじめ、選手の皆さん本当にお疲れさまでした。感動をありがとうございました。社会学部同窓会では、「目標５位以内」の実現を来年に期待し、新米を差し入れて応援していきます。

品川駅前で 10 区の走者を応援

沿道応援後、新年会に参加された皆さん

合同会社　室

居酒屋　むろ

https://muro-420.therestaurant.jp/
（国立駅前まっちゃん横）

営　業　17：00～23：00
（ラストオーダー22：00）

定休日　なし
※ランチ再開しております

国立市東１－１－26　Ｋフラットビル１階

電話　042-505-8501

合同会社 室　代表社員　室井 文雄
1978年卒､北川隆吉ゼミ

2024年度　法政大学社会学部同窓会定期総会

～市ヶ谷の教室と同時にオンラインで開催～

2024年度社会学部同窓会定期総会は、本年６月８日（土）に市ヶ谷キャンパスで開催します。オンラインでの同時配信もありますので、遠方の方など、同窓会ホームページを通じてお申し込みのうえ、ご参加ください。

1　開催日時
2024年６月８日（土）13：00より（約１時間45分の予定）
※総会後に懇親会を予定。

2　会場
市ヶ谷キャンパス　富士見ゲート棟６階Ｇ601教室

3　開催形態
総会は上記教室を使用、オンラインでも参加できます（ハイブリッド型）。全国からのご参加をお待ちしております。

4　参加方法（オンラインの場合）
社会学部同窓会ホームページを参照してください。

5　総会内容（予定）
総会：事業報告、収支・決算及び監査報告、役員（案）、事業活動（案）、予算（案）、他
講演：澤柿教伸社会学部長にご講演いただきます。
参加を希望された会員には別途ご案内します。

第１号議案　2023 年度事業報告

【2023 年度事業一覧】

月日	種類	事業活動内容
4 月 17 日		教授会執行部との懇談 2023 年度事業概要及び連携について
5 月 18 日	オンライン役員会	六大学野球観戦について　第 62 号会報の進捗状況を確認
5 月 20 日	同窓会事業	六大学野球観戦の集い（対東大）・懇親会
6 月 5 日	同窓会事業	会報 62 号発送作業
6 月 5 日	オンライン役員会	総会準備について
6 月 10 日	同窓会事業	2023 年度定期総会開催　懇親会 （来賓・対面参加・オンライン参加　計 40 名）
7 月 8 日	同窓会事業	大人のグルメ散歩（神楽坂探訪） 神楽坂居酒屋「越後酒房」５名参加
9 月 14 日	オンライン役員会	今後の活動、会報 63 号について
9 月 16 日		校友会ブロック会議・同窓会協議会会議
9 月 22 日	同窓会事業	会報 63 号編集会議　池袋にて
10 月 16 日	同窓会事業	箱根駅伝選手（陸上部）に新米の差し入れ
10 月 16 日		教授会執行部との懇談　情報交換
10 月 21 日	同窓会事業	六大学野球観戦の集い（対明治）、法学部・経営学部と合同観戦・懇親会
10 月 24 日	協賛事業	長野県飯田市「北一明記念館」開設式　赤池参加
11 月 16 日	オンライン役員会	箱根駅伝、卒業祝賀会について
11 月 21 日	同窓会事業	社会学部同窓会寄付講座　社会学部授業「職業社会論」依田素味氏担当（日本経済大学教授・社会学部同窓生）の授業に郡司貴志氏（1987 年卒　NEC グループ勤務）がゲスト講師として参加
12 月 11 日		会報 63 号発送作業
1 月 3 日	同窓会事業	箱根駅伝応援　新年会　（参加者 11 名）
1 月 18 日	オンライン役員会	卒業祝賀会　優秀論文表彰について
1 月 20 日		校友会ブロック会議　校友会理事会報告、理事選出
1 月 28 日	協賛事業	オール法政新年会　同窓会より４名参加
3 月 24 日	同窓会事業	卒業祝賀会を社会学部同窓会より補助金にて支援 社会学部優秀卒業論文表彰　受賞者 11 名に賞状・記念品を贈呈
3 月 14 日	オンライン役員会	会報 64 号について　来年度の計画について

第２号議案 2023 年度収支・決算及び監査報告

収入の部

費　目		予算額	決算額	差引	備　考
前年度から繰越金		1,256,435	1,256,435		
会費		1,000,000	946,000	54,000	預り会費（次年度会費等）411,000円含む 延滞納入11件、本年度会費納入168件　前倒し納入136件
寄付金		150,000	171,000	△ 21,000	63件
広告料		300,000	305,000	△ 5,000	会報62号・63号
総会会費		175,000	190,000	△ 15,000	
利息		500	88	412	三菱東京UFJ
終身会員徴収/事務代行手数料		10,000	12,000	△ 2,000	
定期預金振替		0	0	0	
計		1,635,500	1,624,088	11,412	
合　計		2,891,935	2,880,523		2023年度総収入

支出の部

費　目		予算額	決算額	差引	備　考
事業費		250,000	209,157	40,843	卒業祝賀会補助金、優秀論文者表彰状・記念品（11名）、卒業生勧誘チラシ印刷
総会費		175,000	187,202	△ 12,202	総会案内等
会議費		50,000	39,475	10,525	発送作業（お茶、昼食）
会報発行費		550,000	437,939	112,061	
	印刷費	350,000	323,510	26,490	会報印刷（62号・63号）
	発送費	150,000	106,273	43,727	会報発送（佐川ゆうメール便）
	雑費	50,000	8,156	41,844	取材交通費、振込手数料
渉外費		80,000	47,312	32,688	
	賛助金他	50,000	47,312	2,688	大学関係部署へ中元・歳暮、他同窓会総会お祝い
	慶弔費	30,000	0	30,000	
事務局経費		1,316,000	1,213,347	102,653	
	人件費	600,000	597,250	2,750	事務局員費
	交通費	80,000	35,519	44,481	会報発送作業、卒業祝賀会への交通費等
	通信費	70,000	75,994	△ 5,994	日本郵便従納料金、広告依頼文書、入金確認（60歳の手紙）等
	備品費	50,000	39,620	10,380	プリンター購入　日本アプリケーションR&R更新
	消耗品費	50,000	30,699	19,301	インクカートリッジ、ラベルシール、のりなど
	印刷費	70,000	59,258	10,742	チラシ印刷代
	ＨＰ経費	300,000	282,480	17,520	ＨＰ管理更新料
	事務室賃借料	36,000	36,000	0	
	雑費	60,000	56,527	3,473	会費払込手数料
予備費		470,935	0	470,935	
計		2,891,935	2,134,432	757,503	
未払金			0		
次年度へ繰越金			746,091		2,880,523(収入) −2,134,432（支出）
合　計		2,891,935	2,880,523		2023年度総支出

※この他、社会学部同窓会資産として定期預金5,000,000円を所有しています。

会計監査報告書

会計監査報告書

法政大学社会学部同窓会 2023 年度会計について、監査をいたしましたところ、経費の支出並びに会計処理は適正に行われており、別紙「2023 年度決算書」の通り相違ないことを認めます。

2024 年 5 月 20 日

法政大学社会学部同窓会
会計監事　木村　誠

会計監査報告書

法政大学社会学部同窓会 2023 年度会計について、監査をいたしましたところ、経費の支出並びに会計処理は適正に行われており、別紙「2023 年度決算書」の通り相違ないことを認めます。

2024 年 5 月 3 日

法政大学社会学部同窓会
会計監事　鶴岡　明広

第３号議案　2024～2025 年度　役員（案）

1　役　員（任期２年　2024～2025 年度）

名誉会長	澤柿　教伸（社会学部長）
会　長	中　正美
副会長	山岸秀雄、星野昌弘、吉川新吾、中塚史行 赤池慎一、山下勝也、木暮美菜、髙橋敏
常任理事	小林直毅、中村一廣、杉原典男、 依田素味、郡司貴志、山田幹夫
理　事	細田泰博、武井 透 （この他の理事は、依頼・調整中）
監　事	鶴岡宏明、木村　誠
幹　事	藤永正順、小澤雄司 （この他の幹事は、依頼・調整中）
事務局	赤池慎一、高橋　敏、金子久美子

2　校友会役員

代表議員	赤池慎一

3　同窓会協議会役員

委　員	中　正美、赤池慎一、高橋敏

4　各部と担当

部	代表	内容	部員
総務部	赤池	総会、事務局会議 役員会、渉外関係の総括 会員拡大、事務局管理	杉原、木暮、髙橋
広報部	吉川	会報担当 Ｗｅｂサイト担当	山田、赤池（＋全役員） 中塚、郡司（＋全役員）
事業部	髙橋	就職活動セミナー担当 卒業祝賀会担当 イベント担当	依田、山田、赤池 杉原、山岸、木暮 赤池、山下、星野、中村

※ 会員からさまざまな情報や意見等が得られるよう、全国のブロックに「連絡員」を置く。

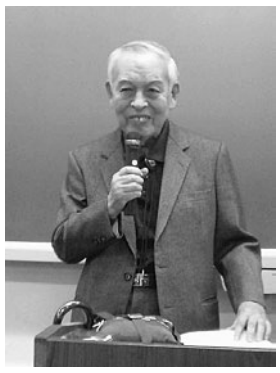
都道府県ブロック連絡員

埼玉県：中正美、神奈川県：山岸秀雄、東京都：吉川新吾、千葉県：中村一廣、群馬県：武井透、広島県：藤永正順、秋田県：山田道生

※役員（案）の理事・幹事名は一部依頼・調整中（５月20日現在）。

追悼　土生　長穂　先生

「世界をどうみたらよいか、教えてくれた」



ゼミのOB・OG会で講演する土生先生（2012年11月17日、木村誠氏提供）

星野　昌弘
（76年3月卒、土生長穂ゼミ）

長年、法政大学社会学部で教鞭をとられていた土生長穂先生が、今年3月25日に逝去されました。94歳でした。

土生長穂先生は1929年4月27日生まれ、京都大学法学部卒。同大大学院法学研究科修士課程修了後、56年4月から法政大学社会学部に着任。60年4月に助教授、69年4月に教授になりました。

先生は第三世界と非同盟諸国の問題や低開発国における新植民地主義などの研究をされ、多くの学生がゼミに集まりました。また、アジア・アフリカ・ラテンアメリカ研究にも積極的に関わってきました。

学生時代の思い出として特に印象に残っているのは、先生の口添えで当時のキューバ大使館との親善野球の交流試合や、アフリカのタンザニアの学生たちとの交流ができたことです。国際交流を深めるため、海外研修旅行も行ないました。現役引退後も土生ゼミOB・OGを連れて研修旅行を楽しまれていたお元気な姿は今でも鮮明に思い浮かびます。グローバルな視点に立って世界をどうみたらよいか、教えてくれた先生に、心から感謝申し上げます。

土生長穂先生のご冥福をお祈り申し上げます。

「土生ゼミ生は1000人以上、世界中で活躍しています」

木村　誠
（77年3月卒、土生長穂ゼミ）

病気療養中だった土生先生が3月25日午前6時頃、入院先の病院で逝去されました。3月31日、家族葬が執り行われました。

土生ゼミ生は1000名を超え、日本国内はもちろん、世界中で活躍しています。先生は退官後も世界各国（ベトナム・タイ・ラオス・カンボジア・韓国・メキシコ・キューバ・チュニジア・モロッコ・クロアチア・ミャンマー等）をゼミ生とともに訪れていました。

先生、ありがとうございました。ご冥福をお祈りします。合掌

産業構造の改善と担い手確保・育成の課題
建設労働調査を振り返って

惠羅　さとみ（社会学部 社会政策科学科　准教授）
研究テーマ：グローバルな社会変動と産業・労働をめぐる社会学的研究

社会学部棟の前で

私は2021年に法政大学社会学部に着任し、授業では「産業社会学」や「人的資源論」を教えています。専門テーマは産業・労働問題や国際労働移動です。特に建設分野に焦点を当てて、フィールド調査を通じた実証分析を行っています。コロナ禍の最中に赴任したため、対面調査を実施できない時期は困りましたが、この2年間はゼミの夏合宿も実施し、体験林業や森林組合への聞き取り調査を通じて林業の再生を考えたり、大阪万博・IRをめぐる実地調査を通じて開発主義の現在について取り上げたりしてきました。また、今年度から担当の「社会調査実習」では、外国人技能実習制度や新たな育成就労制度に関して学生と調査準備を進めているところです。学生を引率する調査は大変ですが、上手くいかないことも含めて気付かされることが多く、やりがいと楽しさを感じています。

大学院生時代に参加したトンネル工事現場視察（写真提供：建政研）

トンネル工事現場で聞き取り調査

思い返せば、私が労働調査に参加するようになったのは、2003年に一橋大学大学院社会学研究科の博士課程に進学して以降です。最初は、全日本建設交運一般労働組合と現NPO法人建設政策研究所（以下、建政研）が共同で実施した「野丁場調査」でした。まだ学生気分で戸惑いばかりでしたが、特に印象深く思い出すのが、長野県トンネル現場視察と徳島県公共事業調査です。長野県の釜トンネルでは大規模土木現場のシーリング工法を視察して北海道や東北などからの出稼ぎ従事者にアンケートおよび聞き取り調査を実施し、徳島県調査では兼業事業主の農家を訪ね歩いて公共事業を半ば生業とする業態について聞き取り調査を実施しました。いずれも産業の内実に初めて触れる経験でした。調査合宿や飲み会、そして事務作業などの合間に、建政研元専務理事の辻村定次氏からゼネコン現場所長時代の裏話をお聞きしたり、調査事務局の故栗山嘉明氏から労組専従経験や活動家精神を垣間見たりなど、今になって思えば非常に得難い経験をさせていただきました。それ以降も、大学院生アルバイトとして週2～3日、建政研の事務所に勤務しました。東京土建など首都圏の土建一般労働組合との共同研究では「パワービルダー（※❶）調査」で試みたアポなし戸建住宅建築現場訪問調査が特に印象深く、また個人的には技能の世代間継承に関心を持ち、断続的に職業訓練校への聞き取り調査などを企画・実施してきました。その過程で、この同窓会報へのお声がけをいただくきっかけでもある、職業能力開発短期大学校東京建築カレッジの教務主任で、社会学部同窓会の吉川新吾氏と出会う機会にも恵まれ、本稿を執筆しながら、調査が繋ぐ縁と法政大学ネットワークの広がりの両方を実感しています。

建築の仕事に魅力を感じる若者はいるが、、、（東京建築カレッジの授業風景）

政策と現実のズレに切り込みたい

私が国内で関わってきた労働調査は、建設労働組合（※❷）という中間組織を介して企画・実践したものが中心であったため、職場の参与観察のようなミクロの社会関係分析や、その後の海外調査で実施したような地域コミュニティに焦点を当てたネットワークや運動分析という視点は弱かったと反省しますが、その一方でマクロ構造分析および労使関係の枠組みという産業・労働分析には欠かせない視点を得ました。特に建設分野の場合は、戦後日本の「土建国家」の下で形成されてきた重層下請構造と流動的労働市場という特有の文脈があります。産業構造の改善が叫ばれる中で、現場調査を通じて一人親方、個人請負事業主、出稼ぎ労働者などの就労実態を理解することは欠かせません。昨今、建設業は外国人労働者受入れ政策においても重点分野として位置づけられるようになっています。頻発する災害復興やインフラ形成維持に関しても、労働力不足が待ったなしの課題となっています。私自身、一昨年度・昨年度には国土交通省の中央建設業審議会等の委員として、産業政策立案プロセスに関わる機会を得ましたが、産業における担い手確保・育成、それを支える賃金確保の議論において、労使関係の再構築および中長期的・横断的な制度構築という観点がまだまだ足りていないことを痛感しました。政策と現実との間のギャップを考える上でも、今後も時に学生の力を借りながら、何らかの労働調査の企画・実施に関わっていきたいと模索しています。

用語解説

❶パワービルダー　比較的廉価な戸建て建売住宅を大量に供給する建築会社。飯田グループが代表的存在。

❷建設労働組合　大工や左官などの建設業に従事する労働者・職人、一人親方、手間請従事者、小規模企業で組織する労働組合で、産業別個人加盟の居住地組織という特徴がある。独自に健康保険組合を運営。地域における建設業団体の性格も持つ。

一般社団法人 法政大学校友会

終身会員募集中！（終身会員　30,000円）　詳しくはお問い合わせ下さい。

https://hoseinet.or.jp　法政大学校友会　検索

会　長　竹中宣雄
副会長　田﨑　稔　坂戸俊夫　大森廣行　三井和夫　中村寿美子
石渡洋行　岡本眞司　池谷文雄　田中利幸

監事　山嵜正俊
発地敏彦
飯塚　昇
田中修司
伊藤昌子

事務局　〒102-0073　東京都千代田区九段北3-2-3　九段校舎4階
TEL 03-3264-1831　FAX 03-3264-4770　E-Mail：jimukyoku@hoseinet.or.jp